

18 へぎ板壁掛け製作体験～木曾で生きてる匠の技

- 【日 時】 平成 28 年 2 月 9 日（火）11：00～16：00
【場 所】 東京都中央区 銀座 NAGANO イベントスペース
【内 容】 以下のとおり

首都圏在住者を対象に、木曾地域の木材関連産業の紹介と木曾地域の情報発信を行うため、長野県の「銀座 NAGANO」において木工体験講座を開催しました。今回は、上松町在住の小林鶴三氏を講師としてへぎ板を使った壁掛け細工作りを行い、2 回の講座で合計 30 名の方に体験いただきました。

始めに小林氏から「へぎ板」について見本を示しながらご説明いただき、実際に手で板を「へぐ」体験をしてもらいました。参加者のほとんどがへぎ板を初めて知るということで、興味津々にメモを取りながらお話を聴いていました。「へぐ」作業は一見簡単そうに見えますが、実際にやってみると最後まできれいに割くことができず、難しさを実感していました。

講義の後、小林氏の指導により「へぎ板」を編む作業に入りました。「網代編み」という編み方で、縦横の長方形が斜めに並んでいくように板を編み込んでいきますが、こちらも意外に難しく、ひとつひとつの工程を小林氏やスタッフに尋ねながら製作していました。編み込んだ板の周囲をホチキスで留め、同じくへぎ板でできた枠を取り付け、約 1 時間 30 分ほどで完成しました。

完成後はティータイムとして、すんきの乳酸菌を使用した「SNKY」やとうもろこしゴーフレット、木曾の「水源地」で淹れたコーヒーを提供し、体験の感想などを講師や参加者同士で語り合っていました。アンケートでは、ほとんどの方から内容に対して満足という回答を頂くことができ、木曾の伝統工芸や特産品の PR として有意義なイベントとなりました。

木曾の厳しい自然環境で育った木材を活かした「へぎ板」は、他で見られない貴重な伝統工芸でもあることから、木曾地域特有の木材産業として、今後も大都市圏での PR で活用できると感じました。

☆当日の様子



会場全体



体験にかかる準備品



小林鶴三氏講義（１）



小林鶴三氏講義（２）



制作体験（１）



制作体験（２）



講師との対話（ティータイム）



参加者への配布物